

後期 5 年の投資・財政計画の見直し（水道事業）

【見直し案の策定にあたり】

5 月 13 日に行った第 1 回の審議会において、新水道ビジョンで定める 4 つの基本方針を収支バランスを計る指標として、令和 3 年度までの前期 5 年の実績値（H29～R 元年度：決算値、R2 年度：最終補正の数値、R3 年度：当初予算の数値）と新水道ビジョンの計画値、4 年度、5 年度の実施計画の数値と新水道ビジョンの計画値を比較しました。





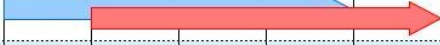








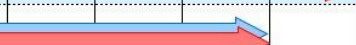







その結果、令和 2 年度、4 年度、5 年度において、4 つの基本方針のうちの一つ、「料金回収率の 100%以上の維持」を満たしていませんでしたが、令和 2 年度の決算処理が終わり、決算見込の数値において「料金回収率」が 102.31%となり、令和 2 年度においては 4 つの基本方針すべてを達成する見込みです。また、今回の見直しでは令和 4 年度、5 年度についても改めて積算しています。


なお、今回の見直しにあたっては、下記のとおり計画期間内に予定されている事業はすべて着手することや期間終了時における目標値を達成することを前提としています。また、当初の計画で試算されている令和 5 年度の料金改定は前提としていません。

◆施設整備計画◆

新水道ビジョン 42・53 ページ参照

実施年度が当初の計画と異なる事業はありますが、令和 8 年度までに計画内の全ての事業に着手する予定となっています。

事業			H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	鍵山浄水場	修繕工事										
2	豊岡配水場	修繕工事										
3	扇町屋配水場	修繕工事										
4	東金子配水場	修繕工事										
5	藤沢配水場	修繕工事										
6	寺竹配水場	建設工事										
7	入間台加圧場	修繕工事										
8	西武第1配水池	建設工事										
9	南峯配水池	解体工事										
10	寺竹加圧場	解体工事										
11	新久中継槽	解体工事										

 … 実績または見直し案の実施期間

◆ 大規模団地配水管更新計画 ◆

新水道ビジョン 42 ページ参照

防衛庁共済団地の配水管布設替工事の実施年度を除き、当初の計画通り進める予定です。

事業	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1 入間ヶ丘団地										
2 防衛庁共済団地										
3 武蔵藤沢台団地										
4 下山団地										

→ … 実績または見直し案の実施期間

◆ 短期耐震化（老朽管布設替）計画 ◆

新水道ビジョン 43・53 ページ参照

令和 8 年度末の耐震化率は 40.0% となり、目標の耐震化率を達成する見込みです。

事業	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
計画値(延長:m)	3,549	5,598	6,525	5,445	5,796	5,615	5,602	5,664	5,523	5,624
実績値(延長:m)	4,295	6,816	5,698	6,213	(4,041)	---	---	---	---	---
計画値(耐震化率:%)	29.9	30.9	31.9	32.9	33.8	35.0	36.2	37.5	38.7	40.0
実績値(耐震化率:%)	29.5	31.0	32.7	34.5	(35.0)	---	---	---	---	---
見直し後										
延長:m	---	---	---	---	---	5,304	5,878	4,672	4,888	5,659
耐震化率:%	---	---	---	---	---	36.3	37.5	38.4	39.3	40.0

() は R3 年度当初予算における見込値

○ 給水人口や給水収益について

「入間市新水道ビジョン」は、平成 26 年に策定された「入間市人口ビジョン 2015」と整合を図り、将来の給水人口の見通しを立てた上で策定されています。「入間市人口ビジョン 2015」は、令和 2 年 3 月に、人口シミュレーションのトレンド推計について時点修正が行われました。今回、後期 5 年の計画を見直すにあたっては、時点修正後の数値を基とした減少率を参考にして、給水人口や給水収益を算出しています。

○ 今後予定される修正について

現在、資料 2 の各項目について引き続き精査を行っており、見直し案の計画値に変更の可能性があります。

次回以降の審議会で、変更後の金額で再度、作表したものを配布いたします。

見直し案の計画（令和４年度～８年度）における４つの基本方針の達成度

事業の実施年度を調整したり企業債を発行したりすることで、令和８年度まで料金改定を行わずに収支のバランスが取れた計画ができるか試算しました（資料２のとおり）。その結果、新水道ビジョンの４つの基本方針の達成見込みは次のとおりとなりました。

４つの基本方針

１．損 益 黒 字 損益黒字を確保します。

	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
損益	210 百万円	70 百万円	150 百万円	113 百万円	78 百万円
達成見込み	○	○	○	○	○

令和８年度まで損益黒字を確保できる見込みです。

２．内部留保資金 日常の資金繰りと災害時に備えて内部留保資金を 15 億円以上確保します。

	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
内部留保資金	1,806 百万円	1,988 百万円	1,951 百万円	1,782 百万円	1,666 百万円
達成見込み	○	○	○	○	○

施設の更新工事により内部留保資金は令和４年度に大きく減少します。給水収益に対する企業債残高の割合が 150%以内におさまる範囲で企業債を発行することで令和８年度まで 15 億円を確保できる見込みです。

３．企業債残高 令和８年度の「給水収益に対する企業債残高の割合」は 150%以下とします。

	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
割合	131.9%	143.1%	147.9%	146.1%	145.7%
達成見込み	○	○	○	○	○

当初の計画の発行合計額 2,610 百万円を 750 百万円超えて発行しますが、令和８年度末における給水収益に対する企業債残高の割合は 145.7%となり基本方針を達成する見込みです。

４．料金回収率 「料金回収率」は 100%以上を維持します。

	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
料金回収率	101.96%	97.13%	99.54%	98.26%	96.65%
達成見込み	○	×	×	×	×

令和４年度は料金回収率 100%以上を達成できますが、令和５年度以降は料金回収率が 100%を下回る見込みです。

水道料金の改定の必要性及び改定時期について

資料 2 のとおり、令和 5 年度以降は 4 つの基本方針のうちの 1 つ、「料金回収率の 100%以上の維持」を達成することができませんでしたが、このことを理由に料金改定を直ちに実施すべきとは考えておりません。その理由として、継続して黒字を維持することができていること、入間市では「料金回収率 100%以上」を 1 つの指標としていますが、県内の水道事業体の中央値が 93 であることを見ても、100%を下回ってもすぐに事業運営に支障が出ることはなく、決算により数値は改善する場合があるからです。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の市民生活への影響は、引き続き予断を許さない状況であるため、値上げを早急に実施できる環境にないことも理由として挙げられます。

今回の見直し案は、令和 8 年度まで料金改定を行わないものとさせていただいておりますが、今後も各年度の決算状況を評価し、収支の状況に応じて水道料金の改定を検討していく必要があります。